

商品のお問い合わせや故障・修理のご依頼は、
お買い上げのお店または、下記 QR コードよりご連絡ください。

株式会社ミライスピーカー

☎ 0800-33-37-414 9:00~18:00 (土日祝除く)
携帯電話からでも通話無料

ミライスピーカー サポート

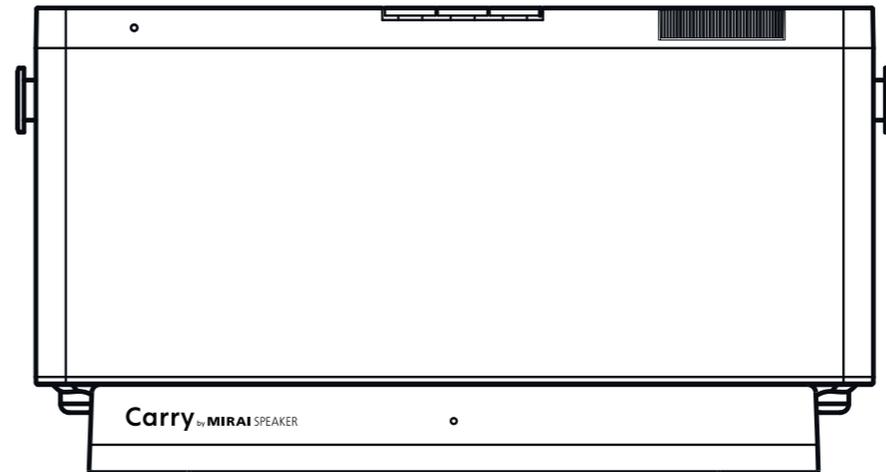
検索



保証書在中

Carry by MIRAI SPEAKER

キャリー・バイ・ミライスピーカー
SF-MIRAI S9



取扱説明書

MIRAI SPEAKER®

仕様や外観は、予告なく変更される場合があります。製品写真は、印刷物につき、実物とは色味が若干異なる場合があります。
MIRAI SPEAKER ロゴは、株式会社ミライスピーカーの登録商標または商標です。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

ご不明な点や修理に関するご相談は<https://miraispeaker.com/support/>をご覧ください。

Copyright © Mirai Speaker Inc. All rights reserved.

安全上のご注意 ※必ずお守りください

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、必ずいつでも確認できる場所に保管してください。

本製品は安全性には十分な配慮をして設計しておりますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告



付属の電源アダプター以外使用しない
故障、不具合の原因になります。



異常に気づいたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷があったらすぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店または当社に修理をご依頼ください。



分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。



強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。



濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。



ベンジン、シンナー、アルコール、接点復活剤などを使用しない
感電、故障や火災の原因になります。



水・アルコール等をかけない
感電、故障や火災の原因になります。



本製品に異物（燃えやすいもの、金属、液体など）を入れない
感電、故障や火災の原因になります。



布でおおわない
加熱により火災やけがの原因になります。



車の中で使用しない
本製品が運転席の足元に落下した場合、運転の妨げになり事故等の原因となります。



同梱のポリ袋は乳幼児の手の届くところや火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。



乳幼児の手の届くところに放置しない
取り扱いかたによっては外れてしまう部品があり、乳幼児の誤飲による事故やトラブルの恐れがあります。



心臓ペースメーカーからは離してご使用下さい
心臓ペースメーカーを装着している人は22cm以上離してご使用ください。電磁波の影響で誤作動する可能性があります。



お手入れの際、電源アダプターを抜く
電源アダプターをコンセントに差し込んだままお手入れをすると、感電の原因になることがあります。



電源アダプターを正しく使用する
電源アダプターのプラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。交流100V以外を使用すると火災や感電の原因となります。また差し込みが不十分な場合、火災の原因となります。

注意



長時間にわたり大音量で使わない
音が割れるような大きな音量で使用し続けると、故障の原因になります。音が割れない範囲でご使用ください。



不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。



直射日光のあたる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。



火気に近づけない
変形、故障の原因になります。



塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない
故障、不具合の原因になります。



人がコードの上を往来するような場所には設置しない
電源アダプターのコードや接続ケーブルを足に引っ掛けると、製品が落下して破損したり転倒してけがをする原因となります。



本製品の上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない
本製品の外装が変色、変質する原因になります。



アロマ（柑橘系精油）を近くに置かない

禁止

故障、破損の原因になります。



長時間使用しないときは、電源アダプターを抜く

変色、変質の原因になります。



お手入れには、乾いた柔らかい布を使用する

ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、化学雑巾などを使用すると、変色、変質の原因になります。

・電源アダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源アダプターを持って抜いてください。抜き差しする前に、電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になることがあります。

・付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

・音声ケーブルや電源アダプターを本体に差したまま持ち歩くと、コードが引っかかり故障の原因になることがあります。

・他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

・本機のモデル名は、本機背面に表示されています。

Bluetooth® 通信について

・本機と接続する Bluetooth® 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

・Bluetooth® 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth® 機器の電源を切ってください。

病院内／電車内の禁電波付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機にはリチウムイオン電池を使用しております。

充電電池

充電式内蔵リチウムイオン電池

△危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手でさわらない

液が目に入ることもあるため、ミラリスピーカーの相談窓口にお問い合わせください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水またはぬるま湯で十分に洗い、ただちに医師の診療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

本機を廃棄する

△注意 日本国内での充電式電池の廃棄について

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しおよび廃棄をお客様ご自身では行わず、ミラリスピーカーの相談窓口にお問い合わせください。

一緒にゴミとして捨てると、ごみ収集作業の際に発熱・発火の危険があります。

△警告



火災



感電

上記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。

本機の無線通信について

本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同様無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と言う）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発信を停止）してください。
3. ご不明な点や、その他お困りのことが生じたときは、ミラリスピーカーのサポートまでお問い合わせください。

2.4XX4

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてその他の方式を採用し、与干渉距離は40mです。

電波法に基づく認証について

本機に内蔵された無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けています。したがって、本機を使用することに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の手段を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機の無線設備を改造すること
- ・認証を受けていない同型式の無線機器を使用すること
- ・本機及び無線設備を日本国外で使用すること

付属品を確認する

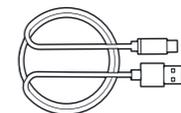
付属品がすべて揃っていることを確認してください



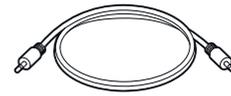
スピーカー本体



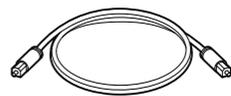
ベースユニット



電源（USB-C ケーブル付き）



φ3.5mm 音声ケーブル



光デジタルケーブル



ハンドル



取扱説明書（本書）



別紙

* HDMI ケーブルは同梱しておりません。

各部の名称

本体上面

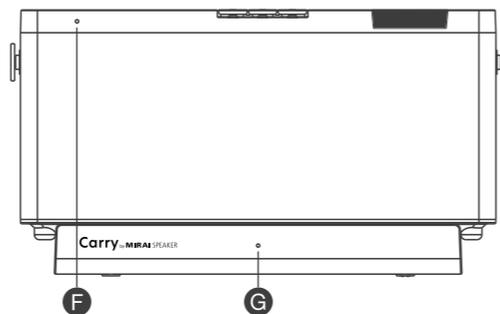
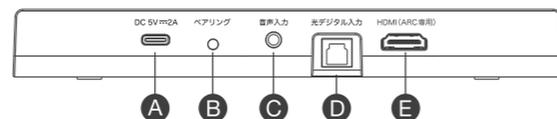
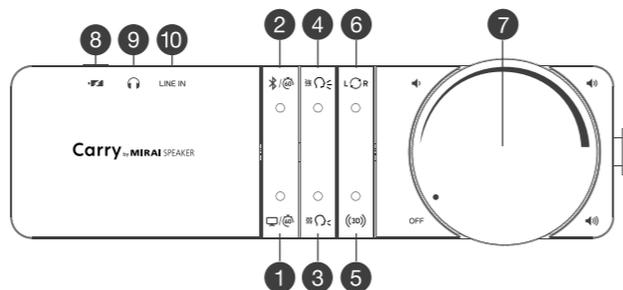
- ① テレビモード/スリープタイマー/スリープ解除
- ② Bluetooth® モード/スリープタイマー
- ③ 言葉くっきりモード (弱) オン/オフ
- ④ 言葉くっきりモード (強) オン/オフ
- ⑤ 3D サウンド機能 オン/オフ
- ⑥ LR 反転モード オン/オフ
- ⑦ ボリュームつまみ/電源スイッチ
- ⑧ USB-C 電源入力
- ⑨ ヘッドホン出力
- ⑩ LINE IN

ベースユニット背面

- A USB-C 電源入力
- B ペアリングスイッチ (本体とベースユニットの無線接続)
- C 音声入力端子
- D 光デジタル入力端子
- E HDMI-ARC 入力端子

本体・ベースユニット前面

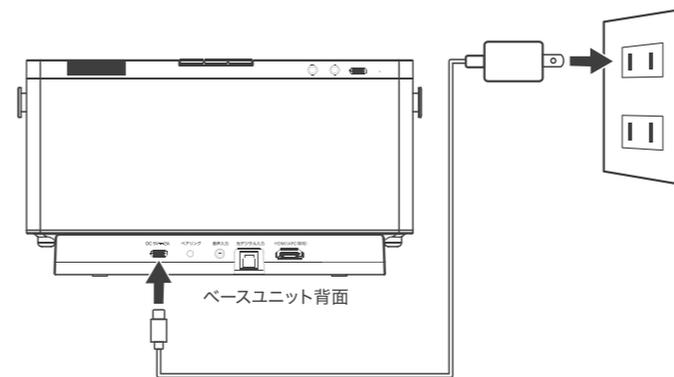
- F 充電 LED (赤)
 - G 信号 LED
- ※緑：音声入力 青：光デジタル入力 明るい青：HDMI-ARC 入力
接続時点灯 発信のみ点滅 オフ時消灯



電源の接続と充電のしかた

1 電源を接続する

USB電源ケーブルをベースユニット背面のDC IN 5V端子(A)に接続し、電源アダプターをコンセントに接続します。

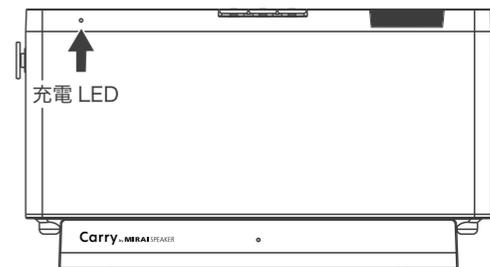


2 初回は4時間以上充電してください。

初回使用の前に、スピーカーをベースユニットの上に置き、4時間以上充電してください。

- (1) 充電中は、充電LED(赤) (F)が点灯します。
- (2) 充電が完了すると、充電LED (F)が消灯します。
- (3) 満充電の状態でも、中音量で最大約18時間の再生が可能です。

スピーカーを使用していないとき、または充電LED (F)が点滅したときは、再度ベースユニットに置いて充電してください。



*充電中でも、スピーカーの電源を切ることができます。

準備する

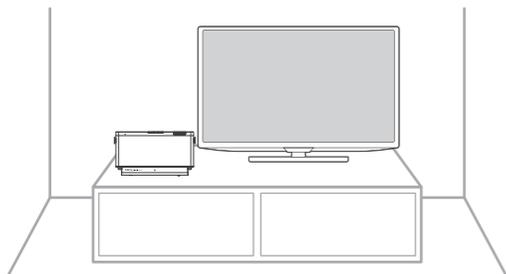
ベースユニットは、テレビの近くの平らで安定した場所に設置してください。

接続には、HDMIケーブル(別売)、光デジタルケーブル、または3.5mm音声ケーブルのいずれかを使用できます。

より良い音質でお楽しみいただくために、HDMIケーブルまたは光デジタルケーブルの使用をおすすめします。

お使いのテレビにHDMI-ARC対応/光デジタル端子がない場合は、3.5mm音声ケーブルをご使用ください。

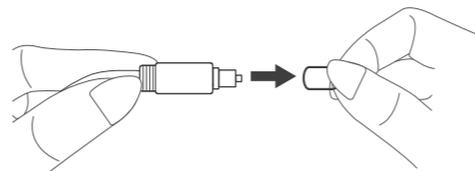
すべてのケーブルを接続した場合、ベースユニットは自動的にHDMIケーブルを優先して選択します。



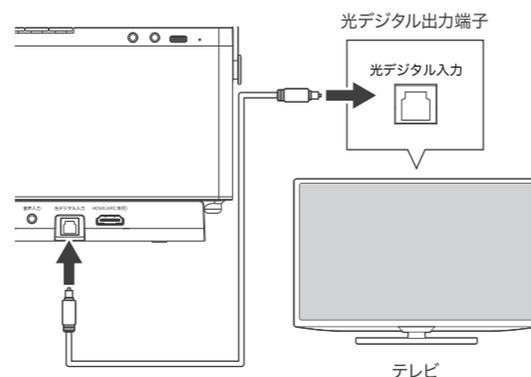
※一部HDMI-ARC機器との互換性がない場合もあります。その場合は、光デジタル入力端子、もしくは3.5mm音声ケーブル接続ください。

1 光デジタルケーブルで接続する

(1) 光デジタルケーブルの両端の保護キャップを取り外します。



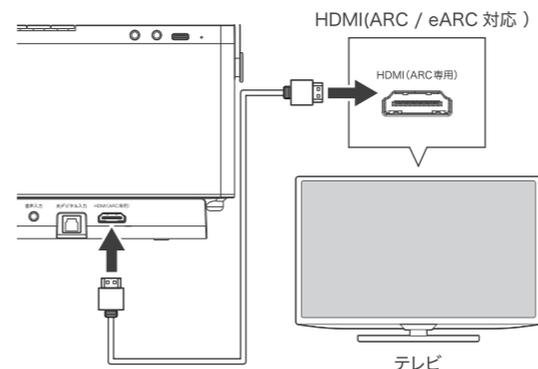
(2) ケーブルをベースユニット背面の光デジタル入力端子①と、テレビの光デジタル出力端子に接続します。コネクターには上下の方向がありますので、ご注意ください。



※コネクターがカチッと音がするまで、しっかり差し込んでください。
※テレビの音声設定をPCMにしてご使用ください。

2 HDMI ケーブルで接続する (ケーブル別売)

テレビのHDMI-ARC 出力端子から、ベースユニット背面のHDMI入力端子②にHDMIケーブルを接続します。



ご注意

- 光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルで接続する場合、テレビのデジタル音声出力設定を「PCM出力」に変更してください。
- 設定を「PCM」にしていない場合、音が出ない、またはノイズが発生することがあります。
- デジタル音声出力を「PCM」に設定する方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご確認ください。
- 設定メニューでは、以下のような項目から選択できる場合があります: デジタル音声出力/PCM/SPDIF/リニアPCM/非圧縮音声/ステレオ/RAWなど。

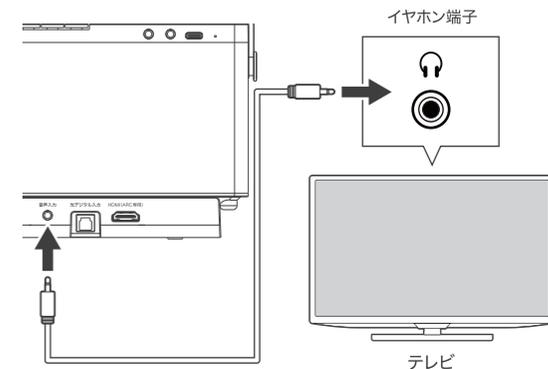
3 3.5mm音声ケーブルで接続する

3.5mm音声ケーブルを、ベースユニット背面の音声入力端子③と、テレビのヘッドホン/イヤホン端子(オーディオ出力)に接続します。

通常、テレビのヘッドホン端子にケーブルを接続すると、テレビ本体のスピーカーから音が出なくなります。

テレビのスピーカーからも同時に音を出したい場合は、テレビの設定を変更する必要があります。

詳しい設定方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご確認ください。



スピーカー本体と ベースユニットのペアリング

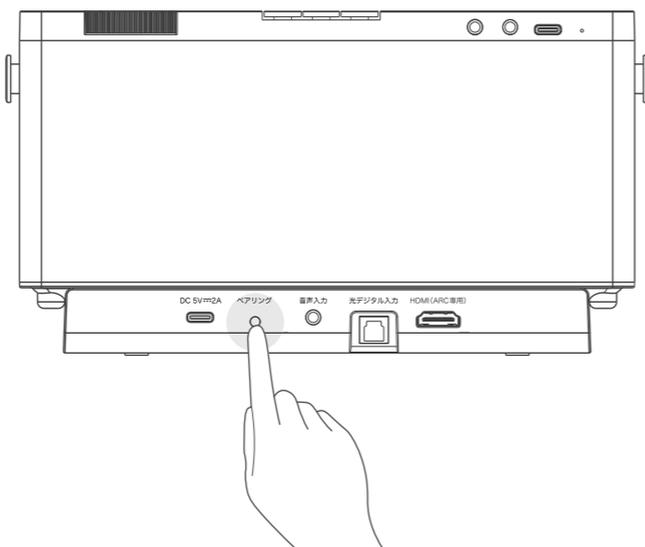
スピーカー本体は事前にベースユニットとペアリング済みのため、すぐにお使いいただけます。

電源投入時自動ペアリングを行いますので音が出るまで数秒時間がかかります。

万が一、スピーカー本体とベースユニットの再ペアリングが必要な場合や追加のスピーカーをペアリングする場合は、以下の手順で操作してください。

- (1) スピーカー本体の電源を入れます。
- (2) LR反転モードスイッチ⑥を長押しします。
- (3) ベースユニット背面のペアリングボタン③を短く押します。
- (4) ペアリングが完了すると、スピーカー本体のTV LED①とベースユニットの信号LED④が点灯し音声再生されます。

*ペアリングがうまくいかない場合は、手順(1)~(3)をもう一度くりかえしてください。



基本操作

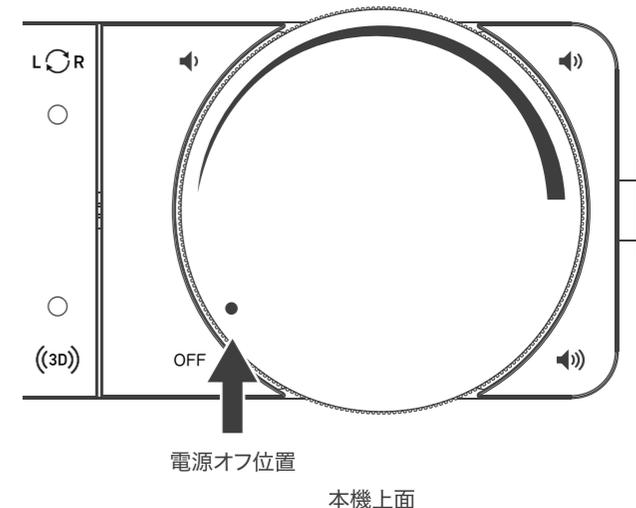
テレビの音声を聞く

- (1) TVの音声を聞くには、音量つまみを時計回りに回し、カチッと音がしたらゆっくりと音量を上げてください。(自動ペアリングに数秒かかります)
- (2) 電源を切るには、音量つまみを反時計回りに回し、カチッと音がするまで戻します。同時にベースユニットの信号LED④が点滅します。スピーカー本体の音量は、テレビ内蔵のスピーカーとは独立して操作できます。
- (3) スピーカー本体とTV内蔵スピーカーの両方から音が出ている場合、TVのスピーカー音量は、小さめまたは消音に設定することをおすすめします。
- (4) 3.5mm音声ケーブルで接続している場合などテレビの機種によっては、リモコンやテレビの設定メニューから音声出力を調整する必要があります。

※ 詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご確認ください。

ご注意

- テレビの電源が切れている場合、または音声15分以上流れない場合、ベースユニットとスピーカー本体は自動的に電源を切ります。
- その後、信号LED④は数分後に消灯します。
- TVの電源が入ってもスピーカーの電源は自動で入りません。
- 再度使用の際は、TVボタン①を押してスリープ解除をするか、ボリュームつまみ⑦をオフの位置まで戻して、もう一度オンにしてください。



言葉くっきり音声モード

デジタル音声処理により人の言葉をより聞き取りやすくし、その他周囲の音を抑える独自の特許技術を搭載しています。

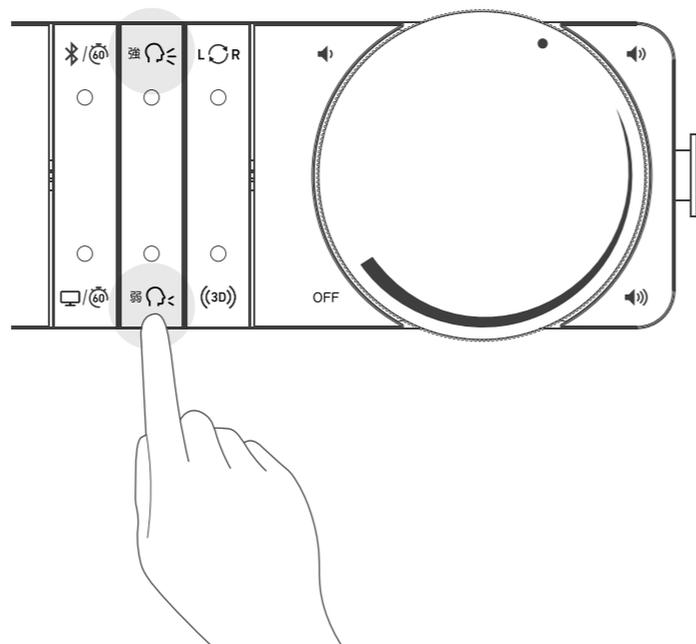
セリフやアナウンスなどの人の声をクリアに、より快適にお楽しみいただけます。

- (1) 「言葉くっきり(弱)③」または「言葉くっきり(強)④」ボタンを押すと、音声を強調する言葉くっきり音声モードが切り替わり、対応するLEDが点灯します。
- (2) もう一度「言葉くっきり(弱)③」または「言葉くっきり(強)④」を押すと、言葉くっきり音声モードがオフになり、LEDが消灯します。

本スピーカーは、薄型テレビ特有の聞き取りにくい音声を改善し、言葉くっきりを明瞭に再生することを目的として開発しました。

言葉くっきり音声モードを使用すると、音楽などの再生で全体の音の印象が変化します。

※効果には個人差があります。

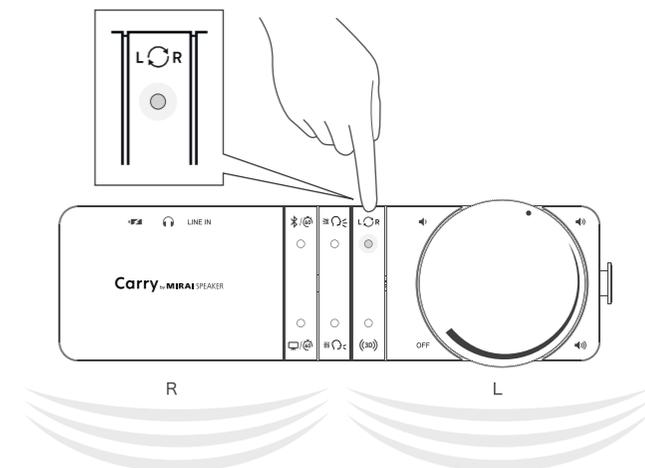


LR反転モードの使い方

スピーカーを座席の後ろに設置する場合は、ステレオのLRチャンネル(左右)を入れ替えることでより自然なステレオイメージで聞くことができます。

- (1) LR反転モード⑥を押すと、LRチャンネルが入れ替わり、白色LEDが点灯します。
- (2) もう一度ボタン⑥を押すと、LRチャンネルの入れ替えが解除され、LEDが消灯します。

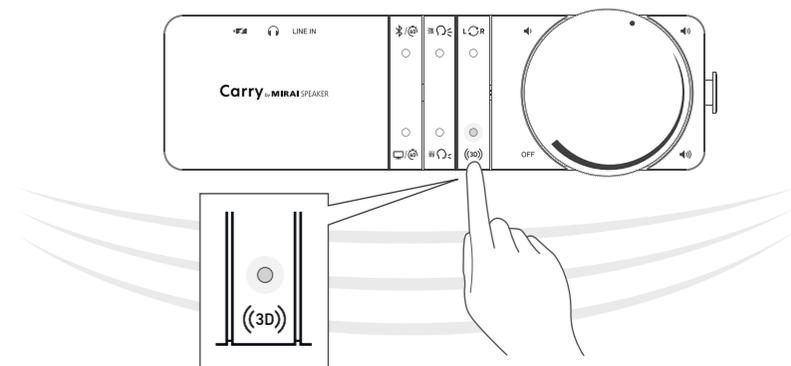
※ 初期設定は「通常のLR」で、LEDは消灯しています。



3Dサウンド機能

ステレオでの視聴の際、デジタル音声処理により通常より広がった音像で楽しむことができる3Dサウンド機能を搭載しています。

- (1) ボタン⑤を押すと、3Dサウンド機能がオンになり、白色LEDが点灯します。
- (2) 再度ボタン⑤を押すと、3Dサウンド機能がオフになり、LEDが消灯します。

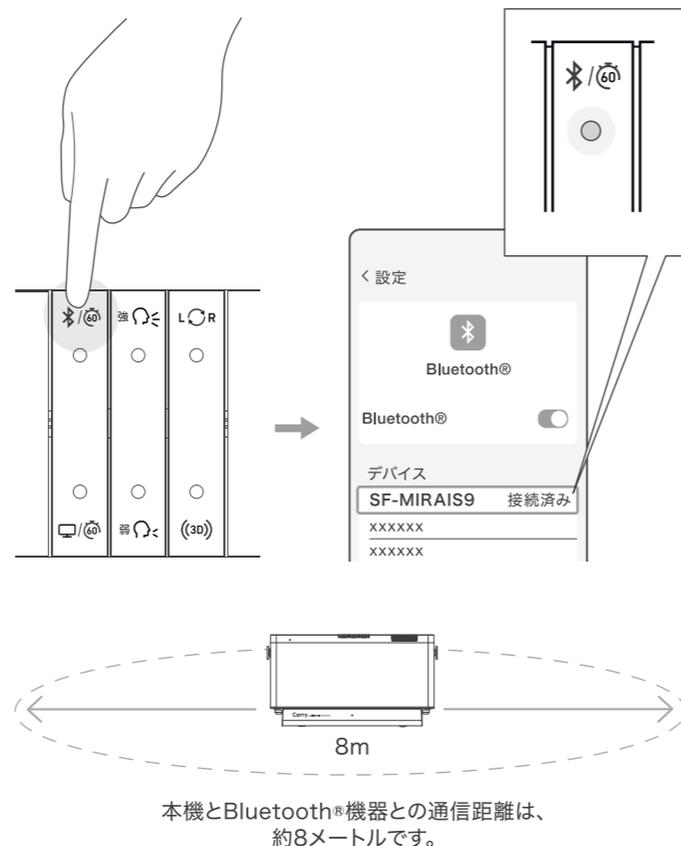


Bluetooth® 接続

Bluetooth®機器を初めて接続する際は、以下の手順でペアリングを行ってください。

- (1) スピーカーの電源を入れた状態で、ボタン②を押し、Bluetooth®モードに切り替えます。
- (2) お使いのBluetooth®機器のBluetooth®機能をオンにし、検索モードにします。デバイス一覧に「SF-MIRAI9」が表示されます。
もし表示されない場合は、ボタン②を2回押して検索可能モードにしてください。このとき、青色LEDが点滅します。
- (3) 一覧から「SF-MIRAI9」を選択し、ペアリングを完了します。接続が完了すると、青色LEDが点灯(常時点灯)します。
- (4) ペアリング後は、接続したBluetooth®機器から音声を再生できます。
- (5) 再生中にボタン②を短く押すと、再生中のメディアが停止します。再度短く押すと再生を開始します。

※Bluetooth®機能を解除するには、スピーカーをTVモードに切り替えるか、接続中の機器でBluetooth®機能をオフにしてください。



ご注意

- 本機とBluetooth®機器との通信距離は約8メートルです。
- 接続前に、お使いの機器がBluetooth®に対応していることをご確認ください。
- すべてのBluetooth®機器との互換性を保証するものではありません。
- 本機とBluetooth®機器の間に障害物があると通信距離が短くなることがあります。
- 信号が弱い場合、Bluetooth®接続が一時的に切れることがありますが、自動的に再接続モードに入ります。

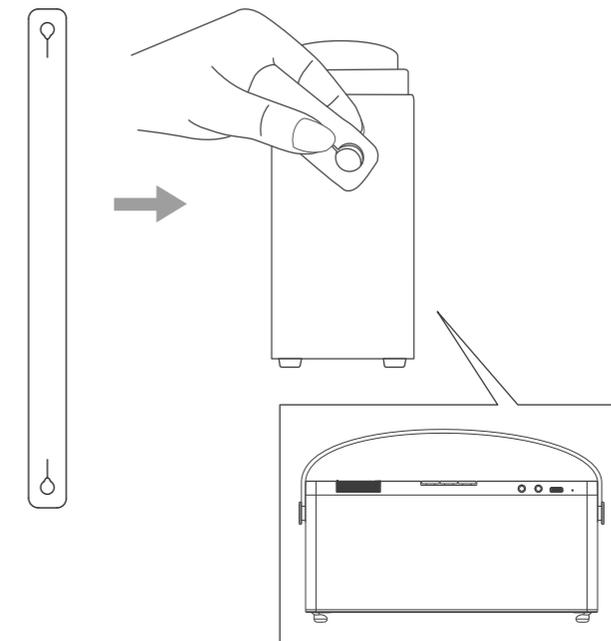
ポイント

- パスワードの入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。
- 2分以内に他のBluetooth®機器とペアリングされない場合、本機は前回接続していた機器に自動的に再接続します。
- 機器が通信距離(約8m)を超えると、接続が自動的に切断されます。
- 再接続する場合は、機器を通信範囲内に戻してください。
機器を通信範囲内に戻した際は、接続が維持されているかをご確認ください。
- 接続が切れている場合は、接続の手順に従い再度ペアリングを行ってください。

ハンドルを取り付ける

持ち運びに便利なハンドルを取り付けることもできます。合成皮革に皺が出るがありますが、故障ではありません。

※取り付けは任意です。



スリープタイマー機能

本機には、1時間のスリープタイマー機能が搭載されています。音量を約1時間かけて徐々に下げながら、やさしく眠りをサポートし、1時間後に自動で電源が切れます。

スリープタイマーをオンにする方法

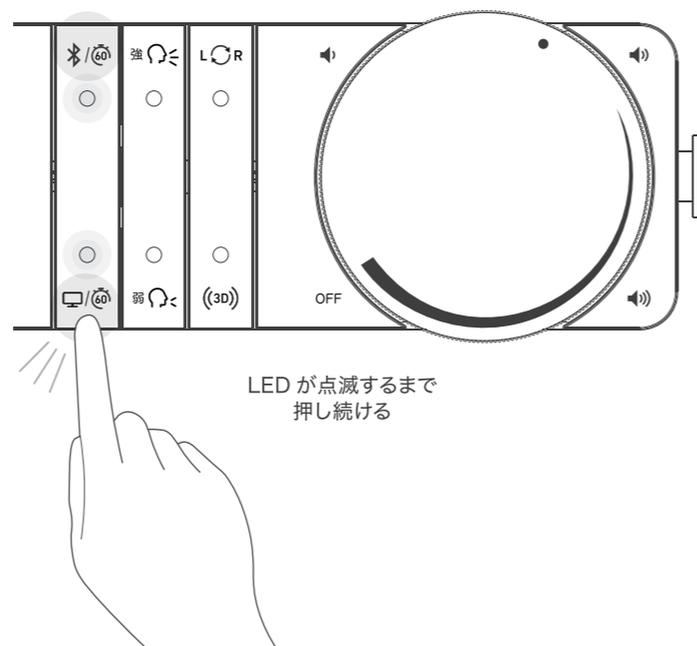
(1) TVボタン①またはBluetooth®ボタン②を長押しし、タイマーを開始します。LED(白色または青色)が点滅し、タイマーが作動します。

(2) 一定時間ごとに音量が少しずつ下がり、自然に眠りにつけるようサポートします。

1時間経過後、スピーカーの電源が自動的にオフになります。

(3) タイマー終了後に再度音声を出したい場合は、TVボタン①を押してスリープを解除するか、ボリュームノブを一度オフの位置にしてから再度電源を入れてください。ベースユニットと再接続され、音声が再生されます。

※タイマーを途中でオフにする場合タイマー作動中のボタンを長押しすると、スリープタイマーが解除され、LEDの点滅が停止します。



LINE IN(ライン入力)

スピーカー本体の「LINE IN」入力端子に3.5mm音声ケーブルを接続して、スマホやタブレットなどの音声を直接再生します。

※ LINE INが優先されて音声出力し、その他から入力された音声は止まります。

ヘッドホンの使用について

スピーカー背面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続すると、スピーカー本体からの音声は出力されません。

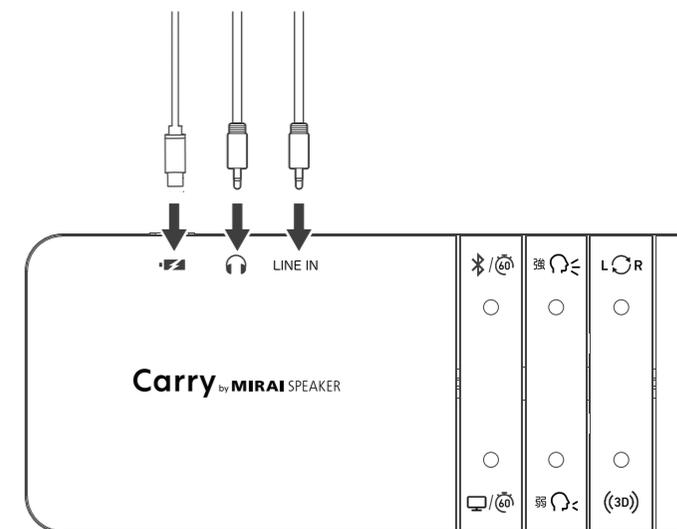
スピーカー本体のボリュームノブを回して音量調整が可能です。ヘッドホン使用時も、「はっきり音声モード」をご利用いただけます。

● ヘッドホン使用時は、聴力の保護のため、控えめな音量でお楽しみください。

USBダイレクト充電

市販の5V対応USB ACアダプターを使用し、スピーカー本体のUSB Type-C端子に接続できます。

スピーカーをベースユニットに戻さずに、充電しながら使用できます。



困った時には

音が出ない（ベースユニットのLED④が点滅）

- **スピーカー本体とベースユニットのペアリングが外れている**
10ページの再ペアリングの操作をおねがいします。
- **電池残量がなく、スピーカー本体の電源がオフになる**
ベースユニットに戻し充電するか、USB-Cケーブルで電源を取ってください。
- **電源が切れていてスピーカー本体の操作ができない**
オフの位置までボリュームを戻し、ゆっくりと上げてください。
- **音量が最小になって電源がオフになっている**
カチッと音がするところまで上げ、徐々に音量を上げてください。

音が出ない(ベースユニットの送信 LED④が点灯)

- **ケーブルが奥まで差し込まれていない**
テレビとベースユニットを接続しなおしてください。コネクターを奥まで押し込んでください。
- **テレビの音声出力が小さくなっている**
リモコンや設定メニューで音声出力を上げてください。

大音量のノイズが出る

- **HDMIで接続**
テレビの音声出力の設定がPCMになっているかを確認してください。
- **光デジタルで接続**
テレビの音声出力の設定がPCMになっているかを確認してください。
- **3.5mm音声ケーブルで接続**
音声ケーブルを接続しなおしてください。

音が途切れる

- **電波が干渉している**
電子レンジや2.4GHzのWIFIと干渉する可能性があります。音が途切れる場合はできるだけ離すか、電子レンジの作業終了をお待ちください。

他のスピーカー等に影響がある場合は、ベースユニットと他の機器を離してください。

テレビの音が出ない

- **3.5mm音声ケーブルで接続している**
一般的にテレビの音は出なくなりますが、設定で同時に出力できるTVもあります。ミラリスピーカー相談窓口でもご案内可能です。

ボリュームを上げても音が小さい

- **3.5mm音声ケーブルで接続している**
TVのイヤホンジャックへ出力されている音量が小さい可能性があります。リモコンなどでボリュームを上げてください。

電源が勝手に切れる

- **オートパワーオフが働いている**
3.5mm音声ケーブルで接続しているとき、無音の状態が15分以上続くとスピーカー本体の電源が自動的にオフになります。
- **スリープタイマー機能がオンになっている**
本機には1時間のスリープタイマー①機能が搭載されています。TVボタンを長押しすることで、スリープタイマー機能をオフにすることが可能です（P16参照）。

充電ができない

- **スピーカー本体の充電LED(赤)が点滅しない**
内蔵のリチウムイオン電池が完全に放電していると充電してもすぐに点滅しない場合があります。20～30分間そのままお待ちください。

主な仕様

スピーカーシステム	
最大出力	5W (RMS)X2
形式	ステレオ・スピーカー（アングルド・ドライバー構成）、背面パッシブドライバー

入出力	
入力（ベースユニット）	HDMI（ARC 専用）入力、光デジタル・オーディオ、3.5mmアナログ音声入力、USB-C タイプ電源端子
入力（本体）	USB-C タイプ電源端子、 3.5mmアナログ音声入力
出力（本体）	3.5mmステレオヘッドホン端子

無線機能	
基本接続	2.4GHz 帯 無線通信
干渉距離	屋内 40m 屋外 30m
変調方式	その他の方式
Bluetooth®	V5.3+ EDR

本体機能	
TV 音声	TV 音声切り替え、スリープタイマー 60 分
Bluetooth®	Bluetooth® ストリーミング受信、スリープタイマー 60 分
言葉くっきり弱	言葉くっきり音声弱 ON/OFF
言葉くっきり強	言葉くっきり音声強 ON/OFF
3D サウンド	3D サウンド機能 ON/OFF
LR 反転	LR 反転機能 ON/OFF

その他	
電源	5V 2A
AC アダプター	専用 AC アダプター、USB-C ケーブル同梱
内蔵電池	リチウムイオン電池 3.7V 5000mAh 最大連続使用時間約 18 時間
その他の付属品	3.5mm音声ケーブル、角型光デジタルケーブル

最大外形寸法・重量	
本体	サイズ:218mm(幅)×100mm(高さ)×65mm(奥行)
	質量:800g
ベース ユニット	サイズ:180mm(幅)×25mm(高さ)×60mm(奥行)
	質量:100g

- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- 本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI™) 技術を搭載しています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMI ロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

アフターサービス

アフターサービスについて

本製品を、取扱説明や警告・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間および範囲を無償修理させていただきます。

お買い上げの際のレシート、領収書、注文完了メールの写しなど、保証開始日の確認がとれる書面をご用意ください。大切に保管し、修理などの際は必ずご提示願います。

保証規定

保証期間中に修理交換などのトラブルが生じた場合はご購入いただいた店舗への持ち込みによる修理をご依頼ください。搬送に要する送料や費用や管理に関する保証は致しかねますことをご了承ください。

なお、保証期間中であっても以下の場合には有償修理です。部品調達が必要など保証期間内に自然故障が発生した際にも下記条件に該当する場合は有償修理となります。

- 保証書の提示がない場合や、所定事項の未記入、字句の書き換えがあるもの。
- 使用上の誤り(落下、破損、改造など)や不当な修理や改造による故障および損傷。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
- 使用上における消耗品の交換や清掃など。

修理について

修理のご依頼に関しましてはご購入先にお問い合わせのうえ、各販売元に直接お持ちいただくか担当事業所まで宅配便でお送りください。

保証書

品名	キャリー・バイ・ミラリスピーカー		
型式	SF-MIRAI9		
お買い上げ日	年	月	日

この度はミラリスピーカー製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。本書をご提示のうえ、取扱販売店または当社窓口へ修理をご依頼ください。

保証期間	お買い上げから 1 年		
お客様情報	ご住所		
	ご連絡先		
	ご氏名		

販売店記入欄

株式会社ミラリスピーカー

フリーダイヤル: 0800-33-37-414 9:00~17:00(土日祝除く)
携帯電話からでも通話無料

【販売店様へのお願い】

必ず太枠内の所定事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。

【お客様へのお願い】

保証期間内に無料修理を受ける場合、太枠内の記載がない時には、「領収書」または「納品書」などいっしょに本書を提出してください。